



緊急時の連絡先

下呂警察署	0576-52-0110
高山警察署	0577-32-0110
下呂市消防本部	0576-25-5119
高山市消防本部	0577-32-0119

火山の異常を感じたら

気象庁火山監視・警戒センター	0570-015-024
----------------	--------------

気象、火山に関する情報

火山：気象庁火山監視・警戒センター	03-6758-3900
気象：岐阜地方気象台（平日日中のみ）	058-271-4108

関連機関連絡先

岐阜県危機管理防災課	058-272-1131
岐阜県飛騨県事務所	0577-33-1111
下呂市役所	0576-24-2222
高山市役所	0577-32-3333
高山地域救急医療情報センター（休日や夜間などの病気、怪我のとき）	0577-34-3799

観光情報など

下呂市役所観光課	0576-24-2222
飛騨小坂観光協会	0576-62-2570
高山市役所観光課	0577-35-3145
飛騨高根観光協会	0577-59-3131
飛騨あさひ観光協会	0577-55-3777

※連絡先は令和6年3月時点の名称を記載しています。 令和6年3月発行

噴火に備えて

御嶽山は活火山です！
過去1万年以内に噴火した火山および現在活発な噴気活動のある火山を「活火山」と定義しています。御嶽山は近年では1979年（昭和54年）、1991年（平成3年）、2007年（平成19年）に噴火がありました。また、2014年9月に発生した水蒸気噴火では戦後最悪の火山災害をもたらした。現在も噴気活動を続けています。噴火やそれに伴う危険に備えましょう。

御嶽山の活動状況チェック！
御嶽山の噴火警戒レベル
噴火警戒レベルとは、火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や避難等の必要な防災対応に応じて5段階（レベル1～レベル5）に区分したものです。住民や登山者等に必要な防災対応が分かりやすいように、各区分にそれぞれ「活火山であることに留意」「火口周辺規制」「入山規制」「高齢者等避難」「避難」のキーワードをつけて警戒を呼びかけます。なお、レベルの段階に関わらず、気象庁からの情報は常に注意ください。

予報・警戒の名称	レベル・キーワード	登山者・入山者等への対応
噴火警戒	レベル5：避難	危険な居住地域からの避難等が必要
	レベル4：高齢者等避難	警戒が必要な居住地域では高齢者等避難者や避難、住民は避難の準備等が必要
火口周辺警戒	レベル3：入山規制	登山禁止や入山規制等危険な地域への立ち入り規制等
	レベル2：火口周辺規制	火口周辺への立ち入り規制等
噴火予報	レベル1：活火山であることに留意	状況に応じて火口内への立ち入り規制等

登山道の規制について
地元自治体が災害対策基本法に基づき山頂周辺の立ち入り規制を実施しています。また、噴火警戒レベルの引き上げに伴い、立ち入り規制地点を変更します。立ち入りが規制されている場所へは、絶対に入らないようにしましょう。

御嶽山上空の風向き
噴煙は風に吹かれて風下へ流れ、噴石や火山灰を降らせます。噴火した場合は上空の風向きをチェックしましょう。

災害を起こす主な火山現象

噴石
噴火によって火口から吹き飛ばされる岩石。特に大きな噴石は落下時間が短く、避難するための時間がほとんどありません。また、破壊力が大きく、数km離れた場所まで被害が及びることがあります。

火砕流や火砕サージ
噴火により放出された火山灰や岩石と火山ガスなどが混合し、斜面を流れ下る現象です。速度は秒速百km以上、温度は数百度に達することもあり、大変危険です。火砕流に伴う火砕サージはより速方に到達します。

土石流
斜面に降り積もった火山灰や噴石が、雨の時に水と混じって谷などを勢いよく流れ下る現象です。大雨の時は注意が必要です。

溶岩流
マグマが火口から流れ出し、山の斜面を流れる現象です。速度は遅いが高温です。

火山灰
噴火によって泡立ったマグマの破片（軽石）や溶岩のかけらが噴き上げられ、地上に降る現象です。軽石や火山灰は風下に降るので、上空の風向きに注意し、火山灰が降ってきたらマスクが濡らしたハンカチなどで口と鼻をおおきましょう。目に入ったら、こすらずに洗い流しましょう。

火山ガス
二酸化硫黄や硫化水素など有毒なガスが含まれています。規制場所には入らないでください。窪地や谷地形などに溜まりやすく、無風のときは特に注意が必要です。

空振
噴火に伴う爆発によって生じる空気の振動。衝撃波が大気中に伝播する現象。火山に面した窓ガラスなどが割れる被害が生じることがあります。

